

平成 30 年 7 月 3 日

関係者各位

「科学者倫理研究会」

座長：河合孝尚

第 5 回「科学者倫理研究会※」開催のご案内

※以前は「科学者の不正行動に関する研究会」でしたが、今年度から「科学者倫理研究会」に研究会名を変更しました。

この度、研究不正に関する第 5 回「科学者倫理研究会」を開催致します。

ご多忙のところとは存じますが、ぜひご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

【科学者倫理研究会について】

『科学者倫理研究会（旧称：科学者の不正行動に関する研究会）』は、科学者倫理/研究公正について考えあうことを目的として、各研究分野の若手研究者の有志が立ち上げた研究会です。

2016 年に第 1 回研究会を開催し、今回で第 5 回目となります。これまで、科学者倫理について興味・関心を持つ各研究分野の研究者、URA 等の大学実務者、官公庁関係者、民間企業の方など産学官の多くの方々に参加いただき、幅広い視点で活発な議論を行っています。

研究不正等の科学者倫理に背く行為が起こる度、規制や罰則強化され、その結果研究者の教育研究活動の萎縮を招き、これが科学の発展の阻害になることが懸念されます。特に、最近では利益相反、軍事研究など科学者倫理においても研究者が難しい判断を迫られるケースが増えつつあります。

このような難しいケースにおいても、研究者が適確に対応できるような研究者倫理観を高いレベルで維持し続けることは科学技術の発展のみならず、我が国の国際競争力の強化に不可欠であると考えています。だからこそ、様々な立場の方との、様々な視点での議論が必要と考え、本会を開催しています。

本研究会にご参加いただいた皆様には、本研究会で得た知識や情報等を自らの組織で活用していただき、更なる公正な研究活動の推進、健全な科学の発展等に寄与していただけることを切に願っています。

- 日時：2018 年 7 月 20 日（金）13：00 ～ 17：30
- 場所：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター5 階 508 室（東京都港区芝浦 3-3-6）
※ 地図 URL：<http://www.cictokyo.jp/access.html>

- 参加費：無料

[申込方法]

メールの件名に「科学者倫理研究会 申込」と入れていただき、

①氏名 ②ご所属 ③役職 ④連絡先（E-mail、電話番号）を下記のメール宛に御連絡下さい。

※ 同じ所属で複数名申し込まれる場合は、まとめて記入していただいてもかまいません。

[申込期限] **2018 年 7 月 17 日(火)まで**

[申込先] Mail：y_miyata[at]nagasaki-u.ac.jp（長崎大学：宮田）

※[at]は@に変換してください。

■ プログラム

13:00- 開会挨拶：「本研究会の開催にあたって」：河合孝尚（長崎大学）

➤ 研究発表（発表時間 25 分, 質疑応答 5 分）

[前半：不正行為に関する研究]

13:00-13:30 発表①「研究不正に関連する心理発生的欲求の潜在因子探索」：佐藤俊太郎①（長崎大学）

13:30-14:00 発表②「組織コミットメントが引き起こす不正行動に関する考察」：森口文博（関西学院大学）

14:00-14:30 発表③「ネガティブな研究倫理教育をポジティブ変換できるか？

研究者コホートは作れないのか？（仮）」：佐藤俊太郎②（長崎大学）

～ 休憩（15分） ～

[後半：教育効果について]

14:45-15:15 発表④「研究倫理教育の評価を考える～RCR 教育と医学教育の側面から」：

中田亜希子（東邦大学）

15:15-15:45 発表⑤「「不完全な研究計画書」の要因探索と教育介入の評価」：川添百合香（長崎大学）

15:45-16:15 研究紹介：「ウェルビーイングについて教えることが学業成績を向上させる」：

宮田有紀、河合孝尚（長崎大学）

～ 休憩（10分） ～

16:25-17:25 全体ディスカッション：研究公正のためのリスクマネジメントについて